
雨音が止まるまで

傍離 刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨音が止まるまで

【コード】

N3909K

【作者名】

傍離 刹那

【あらすじ】

主人公、時雨沢真桜哉にある日起きた突然の事故。家族の死、妹の失踪、増え続ける謎に立ち向かう中、ひとりの少女に出会いその謎に迫る。

父親の残した謎、少女の正体、すべてが繋がり一つになったとき、父親の壮大な計画の全貌があらわになる。

プロローグ

あの日、僕は誓った

あの日、私は決めた

あの日、俺は壊れることも厭わずにただ、もう一度だけお前を抱き締めたかった

あの日、私は産まれた

あの日、貴方は終わった

あの日、それはすべての日々が始まった…それでいてすべての終焉の幕が下りた日

あの日が引き起こした思いは

意思と体、双方の思いに今 未来を変えうることすら叶う力となり

たった一人が、たった一つの強き思いだけが

己の願う、未来へと突き進む

最後にそれを手にするのは、果たして

始まりを告げる炎

今思えば、可笑しなことなんて幾らでもあった。

家にはあの人の写真なんて一枚もなかったし、休みだって遊んでもらった記憶すらない。

それに、…言ってしまったえばあの人が俺たちに父親らしい事をしたことなんて実際一度だってない。

それでも、そんな俺とあの人をつなぎとめていたのは僅かな希望、妹と母親の存在があったからだ。

二人がいた、あの頃だけが俺に残る唯一の家族との記憶だった。

…それも、あの日に音をたてて消えてしまったのだけけれど。

その日も、雨が降っていた。

俺達、は久しぶりに帰宅するあの人を迎えるために、朝から家族で食事の準備をしていた。

そこに届けられた一通の葉書。中は判らなかつたけど、宛名が母親宛てだったもんだから、俺は何の違和感も持たずに母親にそれを渡した。

…それがどうなるかも、知らないで

「おにいちゃん、お父さん遅いねー。雨で遅れてるのかな？」

外の景色を眺めながら、ベッドに座り込む雨音^{あまね}。それを横目で見ながら、俺は自分のPCで作業を進める。学校で必要な書類を探すのに一生懸命で、雨音の声はほとんど素通りに近い。ロクに聞かないままに返事を返した。

『ああ、そうかもな。…まあ、あの人の事だから帰ってくるかなんてわからないけど。』

俺がそういうと途端に雨音は顔をしかめる。理由はわかっていたが、それでも俺は止めなかった。

「…おにいちゃん、お父さんのことまたあの人なんて呼んでる。…それ、やめようよ。せつかく今日は皆でご飯なんだから仲良くして。」

『雨音^{あまね}、…わかってるよ。あの人…、親父が帰ってきたらちゃんと話す。挨拶もする。それでいいんだろう？…いくら家庭を顧みなくともあの人は父親だもんな。』

「おにいちゃん！…お母さんの前ではそれ、絶対に言っちゃダメだからね。」

雨音が俺をたしなめるように言う。それにすら適当にうなずいて返事を返せば、いたたまれない気持ちになった俺は、雨音を部屋から出て行くように促した。

『わかってるよ、大丈夫。うまくやる。…ほら、母さんが呼んでる。お前は先に行って料理の手伝いでもしてこいよ。俺も後で行くから』

さ。』

「お兄ちゃんも後から必ず来てね。お母さんと私だけじゃ絶対大変だもん。」

雨音はそついい、俺の返事も待たずに部屋を出て行った。

俺も、雨音を追い出した後は作業に必死で、まさかそんな事態が待ち構えているなんて知らなかった。

悲劇は、あまりに突然だったんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3909k/>

雨音が止まるまで

2011年10月6日22時44分発行